


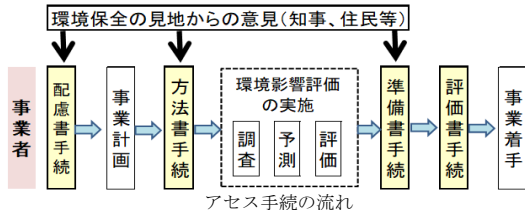
事業番号	06 01 03	事業改善シート（令和元年度実施事業分） 当初要求 <input type="checkbox"/> 当初予算案 <input type="checkbox"/> 補正予算案 <input type="checkbox"/> 点検 <input checked="" type="checkbox"/>			
事業名	環境審査事業費	部局	環境部	課・室	環境政策課
		実施期間	S59 ~	E-mail	kankyo@pref.nagano.lg.jp
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)					
8つの重点目標					
総合的に展開する重点政策	4-5 地球環境への貢献				

## 1 事業の概要

事業の現状・目指す姿 (予算編成時)	<b>【現 状】</b> 法対象3件（中部横断自動車道、伊駒アルプスロード、一般国道20号諏訪バイパス）及び条例対象4件（諏訪市四賀ソーラー（仮称）、長野県佐久市そら発電所（仮称）、一条メガソーラー長野佐久穂海瀬発電所（仮称）、一条メガソーラー長野佐久穂大日向第一発電所・長野佐久穂大日向第二発電所（仮称））について環境影響評価手続を実施中である。また、リニア中央新幹線に係る事後調査報告書等について、審議を行っている。
	<b>【目指す姿】</b> 環境影響評価手続を通じ、大規模開発事業を行う事業者の環境保全への適正な配慮を推進し、もって本県の豊かな環境の保全に資する。
	<b>【実施内容】</b> 事業者への環境保全の見地からの知事意見提出 など

指標及びその達成状況 [ / : 改善、 \ : 悪化、 → : 変化なし ]						事業コスト	区分(単位:千円)		H30年度	R1年度
No	成果指標	H29年度	H30年度	R1年度	目標値		達成状況	前年度繰越		0
1							予算額	現計予算	8,454	6,685
2								合計(A)	8,454	6,685
3								うち一般財源	8,454	6,685
4							決算額(B)	7,237	6,099	
								職員数(人)	3.0	3.0

成果指標設定理由	
達成状況の分析	

主な取組	<p>✓ <b>環境影響評価図書の審査</b> 事業者から提出された次の環境影響評価図書について、内容を十分に審査するとともに、県環境影響評価技術委員会等からの意見聴取を行った。 ・ 諏訪市四賀ソーラー事業（仮称）に係る環境影響評価準備書 ・ （仮称）佐久都市計画道路1・4・1号南牧佐久線に係る環境影響評価方法書</p>	 <p>技術委員会水象部会</p>
	<p>✓ <b>リニア中央新幹線関連事業に対する助言</b> ・ リニア中央新幹線に係る環境調査並びにトンネル工事及び発生土置き場における環境保全等について、県環境影響評価技術委員会委員等の意見をもとに、環境保全のための助言を通知した。</p>	 <p>アセス手続の流れ</p>

## 2 今後の事業の方向性

	課題等	今後の方向性
今後、事業をどのようにしていきたいか	審査案件の増加、複雑化等の中で、環境影響評価制度対象事業の環境影響の審査を確実に遂行する必要がある。	引き続き、持続可能な社会の構築のため、環境影響評価制度の適切な運用により、環境保全を推進する。

事業番号 06 01 03 細事業一覧（令和元年度実施事業分） 当初要求 当初予算案 補正予算案 点検

事業名	環境審査事業費	部局	環境部	課・室	環境政策課
-----	---------	----	-----	-----	-------

細事業 No.	細事業名		H30年度 決算	R1年度 決算
1	環境審査事業費		7,237 千円	6,099 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和元年度 実施内容(実績)	
1	環境影響評価技術委員会の運営	直接	環境影響評価技術委員会を13回（本会議10回、部会3回）、現地調査を2回開催し、環境影響評価図書について専門的・技術的な見地から審査を行うとともに、環境への影響を最大限回避・低減するよう事業者に求めることにより、大規模開発事業の環境配慮を推進した。	
2	環境影響評価員の配置	直接	環境影響評価技術委員会の運営等の業務補助のため、行政囑託職員1名を配置した。	